

第1段階の選抜における募集人員に対する倍率

学部	学科	前期日程		後期日程	
		倍率	備考	倍率	備考
共創学部		約4倍			
文学部		約4倍		約5倍	
教育学部		約4倍			
法学部		約4倍		約7倍	
経済学部	経済・経営学科	約4倍		約7倍	
	経済工学科	約4倍		約7倍	
理学部		約4倍		約10倍	学科毎に行います。
医学部	医学科	約2.5倍			
	生命科学科	約6倍			
	保健学科	約4倍	専攻毎に行います。		
歯学部		約6倍			
薬学部	創薬科学科	—	第1段階の選抜は行いません。	約10倍	
	臨床薬学科	約3倍		約10倍	
工学部		約4倍		約10倍	学科群毎に行います。
芸術工学部		約4倍	募集区分毎に行います。		
農学部		約4倍		約7倍	

(2) 合否判定基準

一般選抜（前期日程・後期日程）による学力判定は、次の合否判定基準に基づいて行います。

なお、各学部・学科等が指定した全ての教科・科目等を受験しなければ、合否判定の対象者とはなりません。

- ① 大学入学共通テストと個別学力検査等を合計した総得点により判定します。

判定は、総得点の上位の者から順に決定します。

- ② 各募集区分における合格候補者の最下位に同点者がいる場合は、原則として合格と判定します。

- ③ 個別学力検査等の次の得点が募集単位（理学部前期日程及び工学部は学部単位）ごとの平均点の3分の1以下の場合は、原則として不合格と判定します。

(1) 1教科・科目の得点

(2) (1)以外の小論文・面接等の得点

- ④ 前期日程の理学部（第2志望学科まで）及び工学部（第3志望学科群まで）については、上記

①から③の基準を踏まえ、次の方法により総得点の上位の者から順に決定します。

ア あらかじめ学部で定めた合格候補者総数の範囲内の者を対象として、各学科（群）ごとに第1志望の者について、成績上位の者から順に（各学科（群）の合格候補者数まで）合格候補者を決定します。

イ アによる方法で、合格候補者数を満たすことができなかった学科（群）がある場合は、アの合格候補者を除くアの範囲内の者を対象として、当該学科（群）を第2志望とする者の中から、成績順に（各学科（群）の合格候補者数まで）合格候補者を決定します。

ウ イによる方法で合格候補者数を満たすことができなかった学科群がある場合は、ア、イの合格候補者を除くアの範囲内の者を対象として当該学科群を第3志望とする者の中から、成績順に（各学科群の合格候補者数まで）合格候補者を決定します。

なお、合格候補者を決定するにあたり、第2志望者又は第3志望者の点数を調整することはありません。

エ 上記アからウの結果、合格候補者数を満たすことができない学科（群）がある場合は、あら

かじめ定めた基準点以上の者に対して志望順位に従って総得点の上位の者から順に決定します。以上の方法により合格者を決定しますので、総得点が上位であっても、志望学科（群）の選択によっては、不合格になることがあります。

- ⑤ 共創学部については、志望理由書の記載内容が学部の趣旨から明白に逸脱している場合、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の得点にかかわらず、不合格となる場合があります。
- ⑥ 経済学部経済工学科（後期日程）については、志望理由書の記載内容が学部の趣旨やアドミッション・ポリシー等に照らし合わせて不適格と判断された場合は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の得点にかかわらず、不合格となる場合があります。
- ⑦ 医学部医学科，歯学部，薬学部臨床薬学科（前期日程）及び芸術工学部学科一括については、面接の結果によって、不適格と判断された場合は、大学入学共通テスト及び個別学力検査等の得点にかかわらず、不合格となる場合があります。

(3) 理学部国際理学コース

理学部国際理学コースの入学選抜は、一般選抜（前期日程）を利用し、一般選抜（前期日程）の各学科の合格者で国際理学コースへの入学を希望する者の中から、成績上位者（各学科最大2名）を選抜します。

なお、一般選抜（前期日程）合格者の中から選抜するため、国際理学コース志願者は一般選抜（前期日程）にも同時に出願している形となります。このため、国際理学コースで合格に満たなかった場合でも、一般選抜（前期日程）合格者となり得ます。国際理学コースへの出願により一般選抜（前期日程）で不利になることはありません。

※ 理学部国際コースについては、11, 12 ページ及び九州大学理学部 Web サイトの「国際理学コース」を参照してください。

<https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/department/kokusai/kokusai.html>